

ちょうふ ISO譜

太陽光発電



第103号（令和4.3.10）
発行：環境政策課 ISO事務局（内7086）

令和3年度第2回環境管理委員会を開催しました ～各部の環境負荷低減の取組に関する意見交換を実施～

調布市は、様々な環境施策を推進する立場である一方、自身が多くエネルギーや資源を消費する「大規模事業者」です。脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者、団体等の皆さんの共感と協力を得るためにも、市自らがゼロカーボンシティの実現に資する取組を実行する必要があります。

そのため、市では各部・局及び会計課を実行部門として、『第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）』に基づく、環境負荷を低減する取組を実施し、「環境管理委員会」で点検・評価しています。

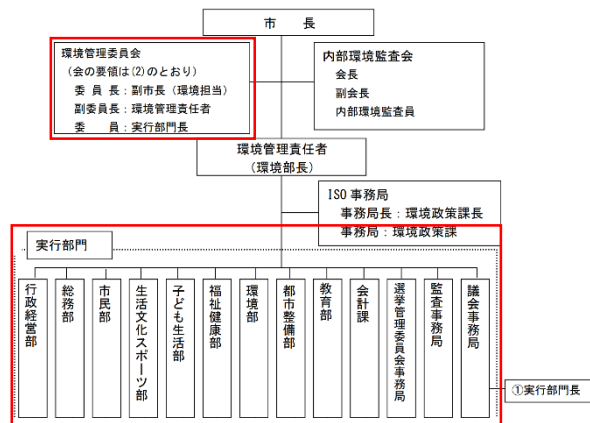
令和3年度第2回環境管理委員会（12月21日開催）では、各部門の積極的な取組について情報共有・意見交換を行い、今後の大きな目標達成に向けて市内横断的な取組を加速させていくことを確認しました。

令和3年度第2回環境管理委員会情報交換概要

- ① 文化会館たづくり設備更新型ESCO事業
＜生活文化スポーツ部文化生涯学習課＞
- ② 総合福祉センターのソーラー集熱を利用した給湯によるガス使用量の抑制
＜福祉健康部福祉総務課＞
- ③ ボードを活用した紙使用量削減の取組
＜福祉健康部高齢者支援室＞
- ④ 街路灯のLED化の推進
＜都市整備部道路管理課＞
- ⑤ 西部公民館の環境への取組
＜教育部西部公民館＞
- ⑥ 市議会ペーパーレス化の取組
＜議会事務局＞

【解説】「環境管理委員会」

市内の環境に係る事項について審議等を行う組織です。副市長（環境担当）を委員長とし、環境部長を副委員長、各部長を主とした各実行部門長を委員としています。



【解説】「第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」

市役所のすべての施設・車両を対象とし、全庁でCO₂を削減する計画です。R7年度にH25年度比17%削減、R12年度にH25年度比40%削減を目指します。計画期間：R3年度～R7年度

環境負荷低減の取組は、決して「ガマン」ではなく、快適な職場環境の実現や、新しいツールによる作業負荷の低減など、生活をより「豊かに」していくものです。

今号では、内部環境監査で見つけた環境に良い取組も紹介していますので、ぜひご覧ください。





[解説！]令和3年度内部環境監査結果

内部環境監査は、環境マネジメントシステムが、環境管理マニュアルや、毎年設定している環境目標に合わせて、適切に実施されているか確認し、改善につなげるもので、毎年10月頃に実施しています。



P(計画):環境目標及び実施計画の作成

D(実施・運用):取組の実施

C(点検・評価):内部環境監査

A(改善):市長による見直し

令和3年度監査概要

監査対象（全21課）

- 1 当該年度被監査課（2年に1度）…19課
生活文化スポーツ部 5課，子ども生活部 4課，
福祉健康部 6課，環境部 3課，会計課
- 2 環境に係る重要度が高い所属（毎年）…2課
総務部 管財課，ISO事務局
- 3 前回指摘（問題）があった課…なし

[解説！]



本庁舎に属する課は、2年に1回の頻度で監査を受けます。監査を受けて「問題がある」と指摘を受けたら、翌年度・翌々年度と、最低3年連続で監査を受けます。

スケジュール

- 10月 各課の監査を実施
- 11月 結果報告書まとめ・市長報告
- 12月 環境管理委員会報告



問題の件数と内容

重大な問題	0件
軽微な問題	0件
助言	1件

[解説！]

今回の助言内容は、各課で行う「環境研修」を適切な時期に行うことについてであり、この、研修実施時期については、例年、助言や指摘（問題）があります。各課の職員を対象として、各所属長が企画して実施する「環境研修」は、第1四半期中に実施してください。

令和3年度内部環境監査結果[優秀な取組]



内部環境監査は、問題がある部分を指摘して改善につなげる効果がありますが、各課で積極的に行われている環境に良い取組を見つけ、普及・啓発し、全庁の改善につなげる役割も持っています。

今回の監査では、12件もの「優秀な取組」が集まりました。そこで、次号も含め、2号にわたって各課1件は紹介したいと思います。今回は省エネの取組特集です。

○スポーツ振興課 [省エネの取組]

執務室内の窓に遮光用ネットを取り付け、直射日光を軽減し冷房の効率化を図った。



○児童青少年課 [省エネの取組]

電灯スイッチの設置個所に、退庁時のチェック事項一覧表を掲示し、電灯やPC・プリンタ等各種機器の電源の切り忘れ、窓の閉め忘れ等防止を図った。

○農政課 [省エネの取組]

自動車を極力使用しないため、自転車を最大限活用した。自転車を活用することにより、市内に点在する農地の現状も移動中につかむことができ、省エネと業務情報の把握とを兼ねられる利点がある。

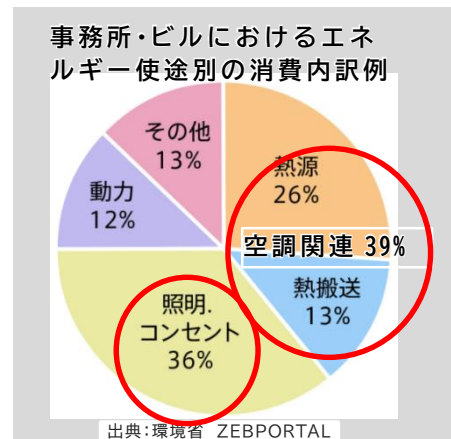
何事も無理やりでは続きません。

業務上（ご家庭でも）のメリットと環境配慮をうまく組み合わせることができれば、継続していける取組になります。

「運輸部門」には、宅配業者や交通機関だけではなく、一般家庭や事業所の乗用車・貨物車も入ります。

[解説！]

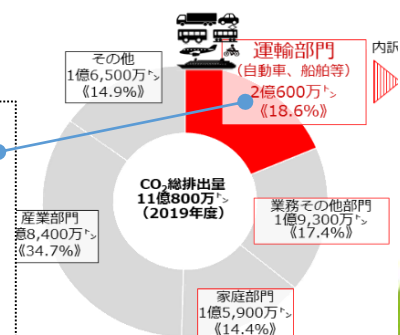
エネルギー消費量が多いのは空調関連と照明です。エネルギー消費量の3/4を占めるため、その無駄を抑える取組は、とても有効な省エネです。



[解説！]

自動車によるCO₂排出は、国内「運輸部門」の中で8割強、自家用乗用車だけでも5割弱を占めます。1台1台は小さいですが、まとまるとかなり大きな環境負荷になっています。

我が国の各部門におけるCO₂排出量



★環境目標(各課共通項目・管財課項目)★

「環境目標」は、全庁で取り組む、市の事務事業から発生する環境負荷を低減し、環境保全を行うための目標です。現在は、「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すうえでの市の率先行動として、温室効果ガスの排出を抑制することを主眼に設定しています。

☆令和3年度第2四半期の環境目標達成状況

取組対象	項目	R3 第2四半期判定	R3 第1四半期判定
全公共施設 ・車両	1 第4次調布市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に係るCO ₂ 排出量の削減 -令和元年度比1.2%削減-	○ -5.6%	○ -10.8%
	2 環境確保条例に係るCO ₂ 排出量の削減 -基準年度から27%削減-	未達成 -26.1%	○ -32.1%
各課共通項目	3 グリーン購入の推進 -グリーン購入率を95%以上にする- ※「グリーン購入法適合商品」購入	○	○
全課	1 電気使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	○	○
	2 ガス使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	○	○
	3 水道使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	未達成	未達成
	4 可燃物排出量の削減 -令和元年度を上回らない- ※資源物(新聞・雑誌+リーフレット・段ボール・ミックスパー)+資源物以外の可燃物	○	○
	5 不燃物排出量の削減 -令和元年度を上回らない- ※不燃物…資源物(カン・ビン・ペットボトル・プラスチック)+資源物以外の不燃物	○	未達成
管財課項目			



緊急事態宣言下において施設の利用制限が行われていたことから達成していた「CO₂排出量の削減」関連目標の、削減率が下がってしまいました。水道使用量は手洗いの励行等による使用量増加が要因です。

[コラム] 全国で初のフロン排出抑制法違反による検挙者が出ました。

冷凍空調機器に冷媒として使用されているフロンの温室効果は、CO₂の数十倍から一万倍以上と非常に大きく、気候変動に大きな影響を及ぼします。警視庁と東京都はフロンのみだり放出等の不適正事案に対する取り締まりを強化しています。

令和3年11月9日に、全国で初のフロン排出抑制法違反による検挙者が出ました。

フロン排出抑制法対象機器については、各施設長が責任者となるため、改めて適切な管理・廃棄等管理者の責務について確認をお願いします。

<参考>

改正フロン排出抑制法 オンライン説明会

